

# INPEX

株式会社INPEX  
(証券コード：1605)

2024年11月21日

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。



イクシスLNG  
沖合生産・貯油出荷施設 (FPSO)

# 1. INPEXの概要

石油・天然ガス開発  
&  
クリーンエネルギー

日本の年間  
エネルギー消費量の

約**1割**

に相当する生産量

事業活動の

**9割**が海外

外国人従業員比率\*  
(2023年12月末時点)

**41.6%**

時価総額  
(2024年11月15日時点)

約**2.5兆円**

総還元性向  
(2024年12月期予想)

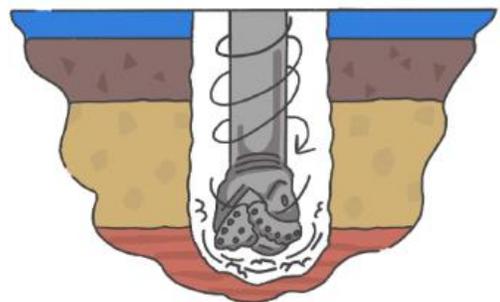
約**62%**

探鉱前営業CF  
(2023年12月期)

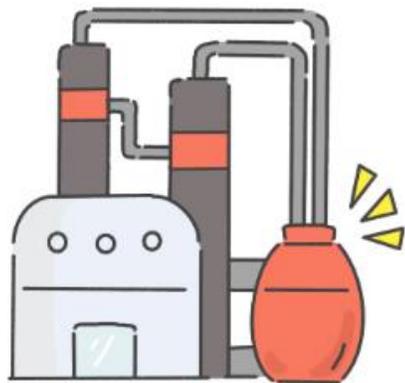
約**1兆円**

\* 子会社を含むINPEXグループの従業員に占める外国籍の従業員の割合

# 当社と石油元売り会社の違い\*



**開発・生産**



**精製**



**輸送**



**販売**

← **上流** →

← **中・下流** →

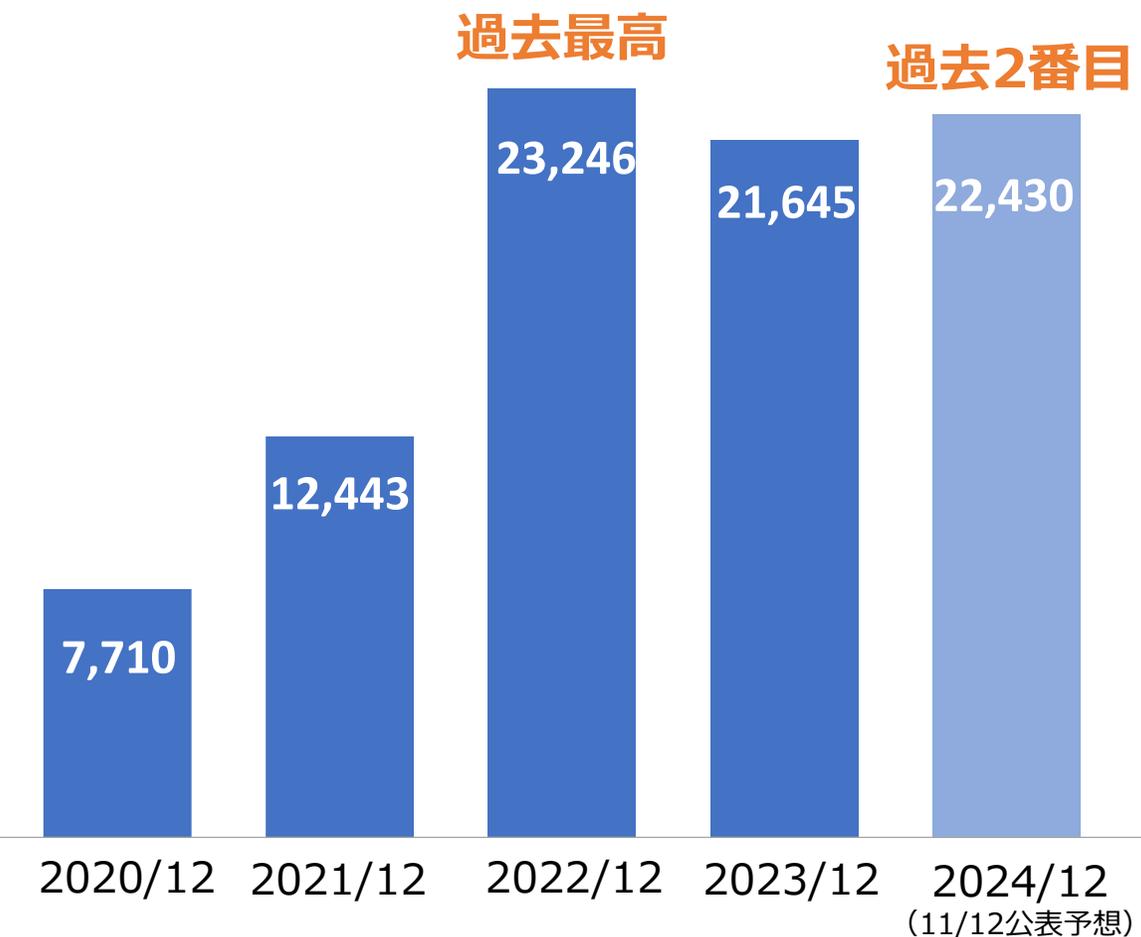
**INPEX**

**ENEOS、出光興産、コスモ石油 等**

\*各社の主要事業を掲載しているもの。

# 今期の業績は過去 2 番目の好業績となる見込み

## 売上収益\* (億円)



## 親会社の所有者に帰属する当期利益\* (億円)

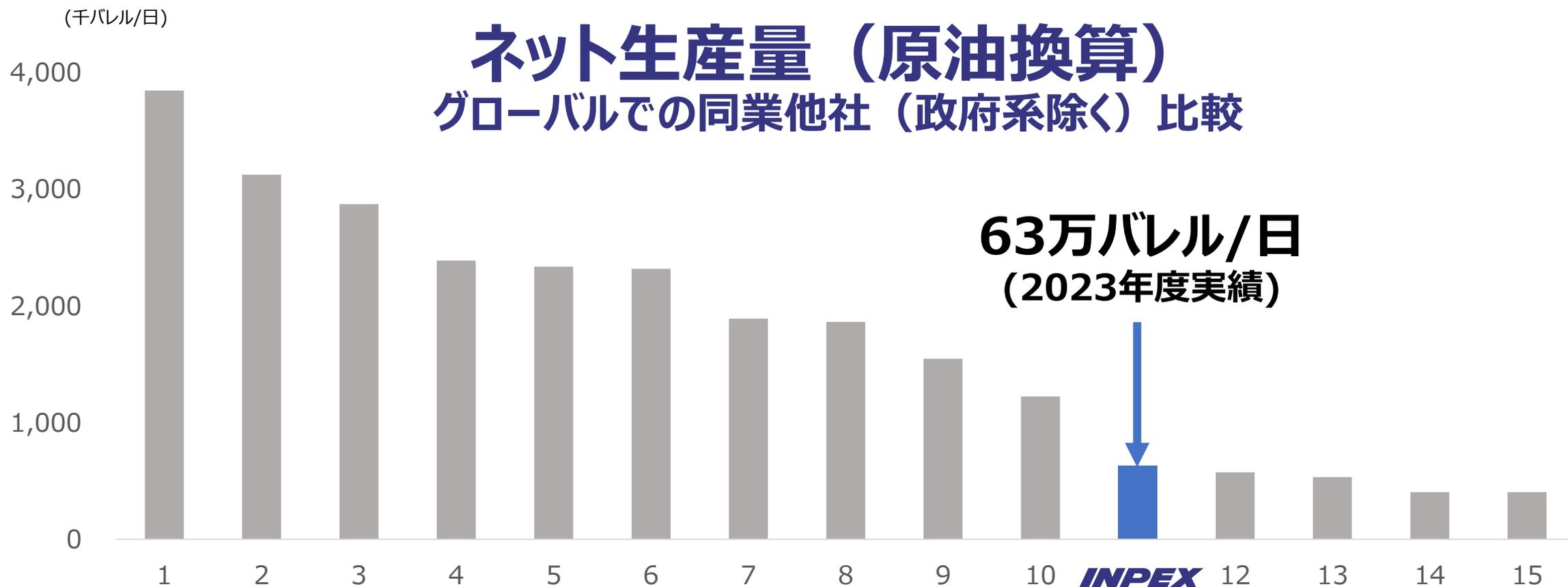


\* 2020年～2022年：日本基準、2023年・2024年：IFRS

当社は**日本最大の**  
**石油・天然ガス開発企業**

ネット生産量はグローバル（政府系除く）で  
**世界11位**

## ネット生産量（原油換算） グローバルでの同業他社（政府系除く）比較



注:  
1. 右記会社の直近公開決算情報に基づく(アルファベット順) : APA, BP, Chevron, Conoco Phillips, Eni, Equinor, Exxon Mobil, Lukoil, Marathon Oil, Occidental Petroleum, Repsol, Shell, TotalEnergies, Woodside Energy.  
2. 各社連結ベースの数値

# 当社の主な石油・天然ガス分野のプロジェクト



国内先進的CCS  
イクシスへのCCS導入

柏崎ブルー水素・アンモニア製造  
米国ブルーアンモニア・グリーン水素



# 世界をまたにかけたビジネスの展開



10月  
ロンドン

4月  
オスロ

1月  
フィレンツェ

11月  
アブダビ



3月  
ヒューストン

6月  
NY、ワシントン



8月  
クアラルンプール、パタヤ



4月  
ジャカルタ



5月  
パース、ダーウィン、シドニー



## 主要株価指標\*1

株価	2,040.5円	
時価総額	2.5兆円	-
PBR	0.58倍	
PER	6.7倍	
配当利回り	4.21%	

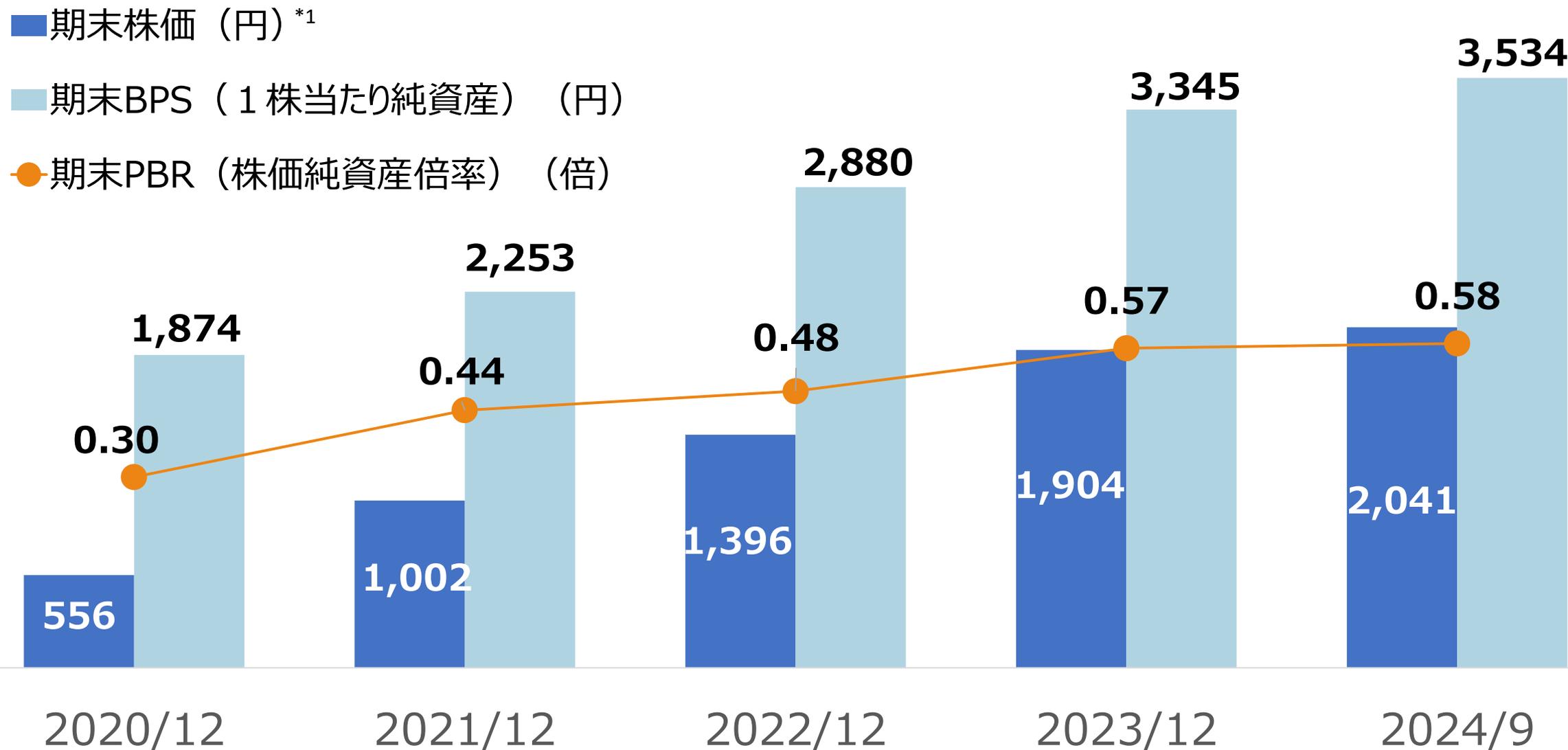
## 期間別の変化率\*1,2

	1年	3年	5年
当社株価	7.1%	103.6%	79.5%
日経225	15.5%	34.2%	63.3%
原油価格 Brent (USD)	-7.1%	-8.0%	8.4%

\*1 2024年11月15日時点

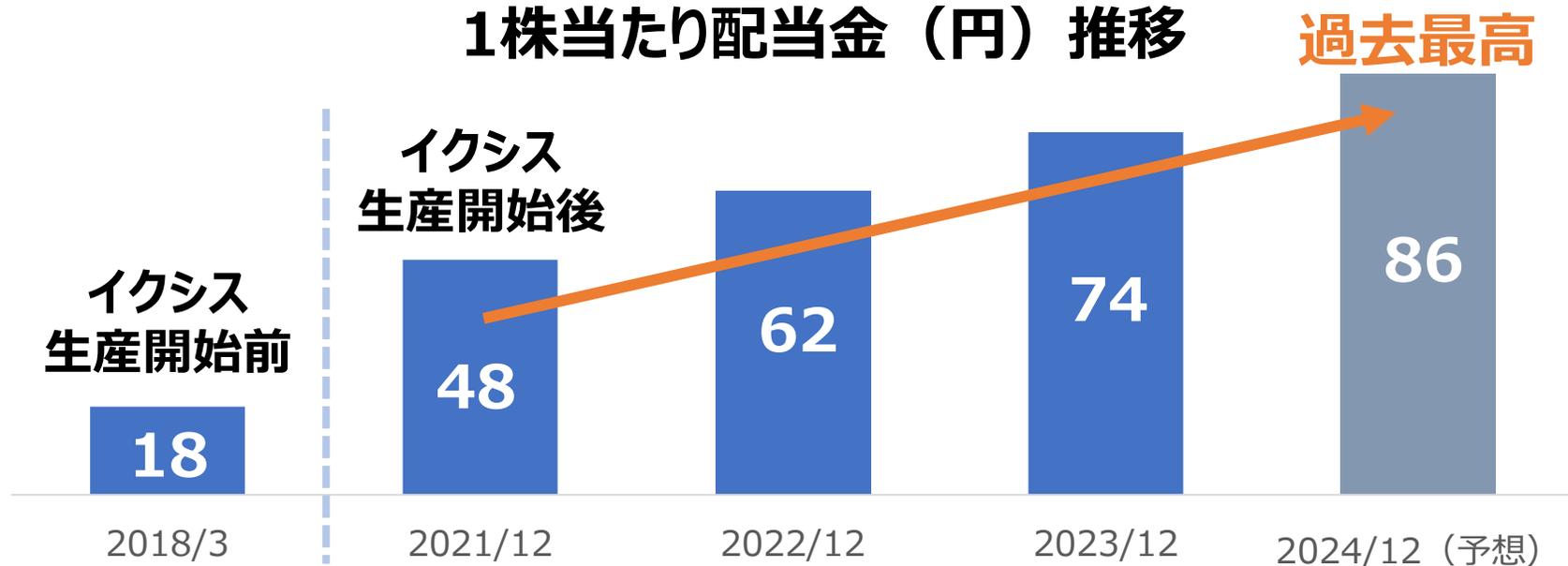
\*2 いずれも年初（前年末終値）との比較

# 株価及びPBR推移



\*1 2024年度株価は11月15日時点

## 1株当たり配当金（円）推移



過去最高

1株当たり配当金は  
2018年度比で  
**5倍弱**まで増加

## 自己株式取得額（億円）の推移



過去最高

**4期連続**で  
自己株式取得を実施

## 2. INPEXはこれから どうやって成長するのか？

獲得したキャッシュの  
一部を投資

## 石油・天然ガス事業

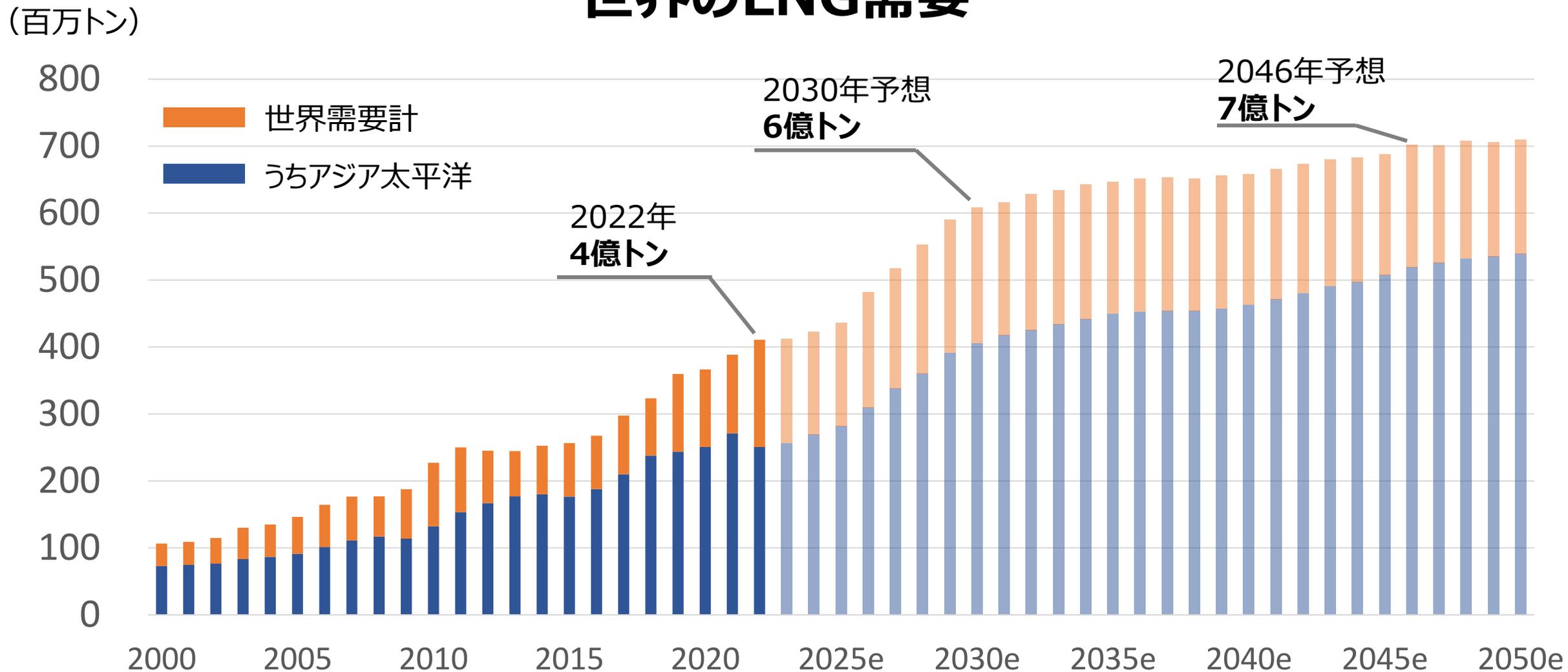
- エネルギーセキュリティ
- ガス中心の時代へ

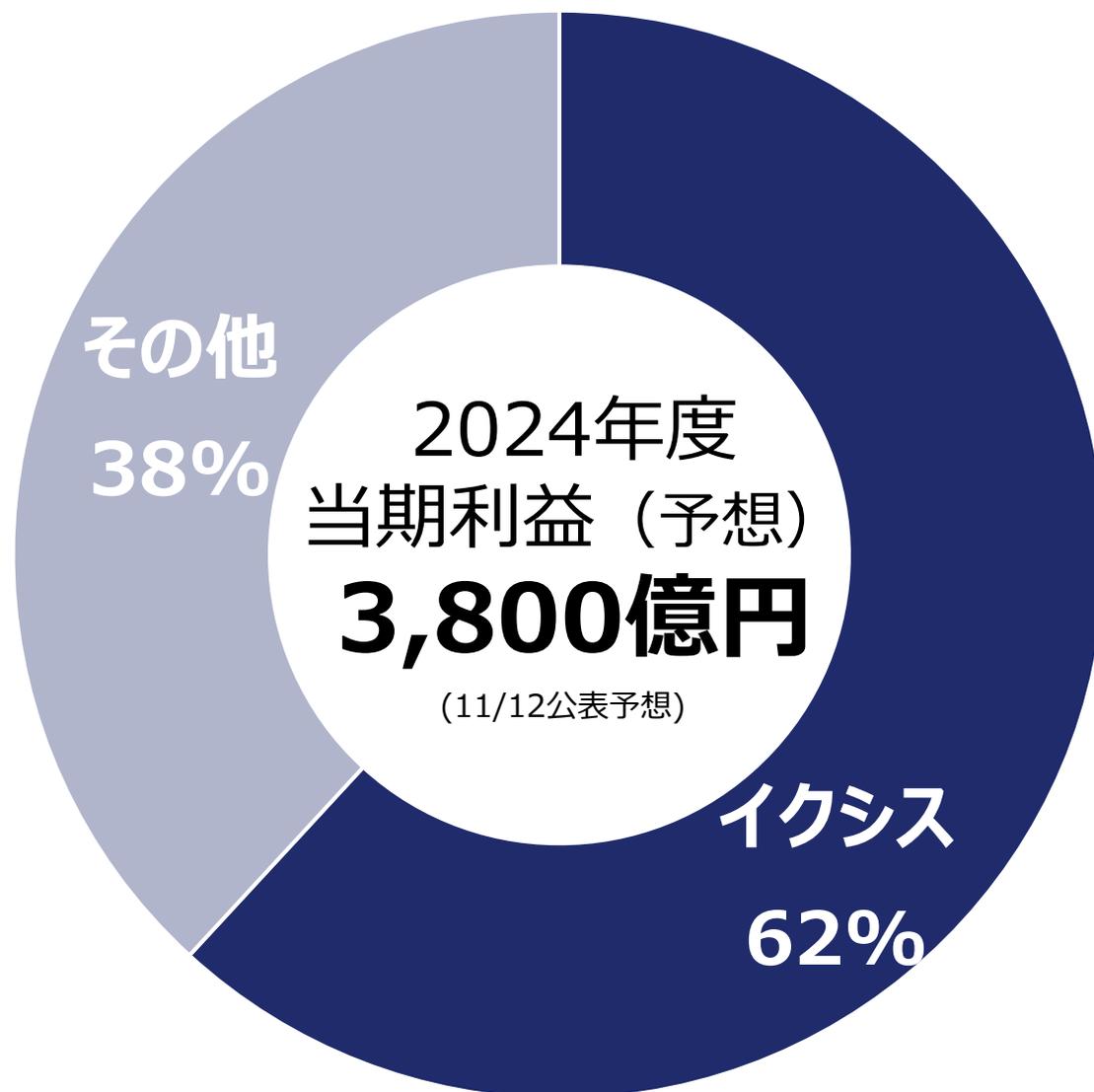
## 低炭素事業

- CCS
- 水素
- 再エネ 等

脱炭素化

## 世界のLNG需要





イクシスのLNG生産量は  
**年産890万トン**

利益貢献額は当社利益の  
**6割程度**を占める

# 安定生産継続・クリーン化



# 設備拡張



オーストラリアにおける  
新たな**エネルギー政策への提言**



**地域貢献**への注力



LNG生産量はイクシスと同程度の  
年産950万トン

開発コンセプトもイクシスに類似しており  
当社の知見を活かせる

FPSO

ガスとコンデンセートの分離

陸上LNGプラント(OLNG)

年産950万トン

海底パイプライン(GEP)

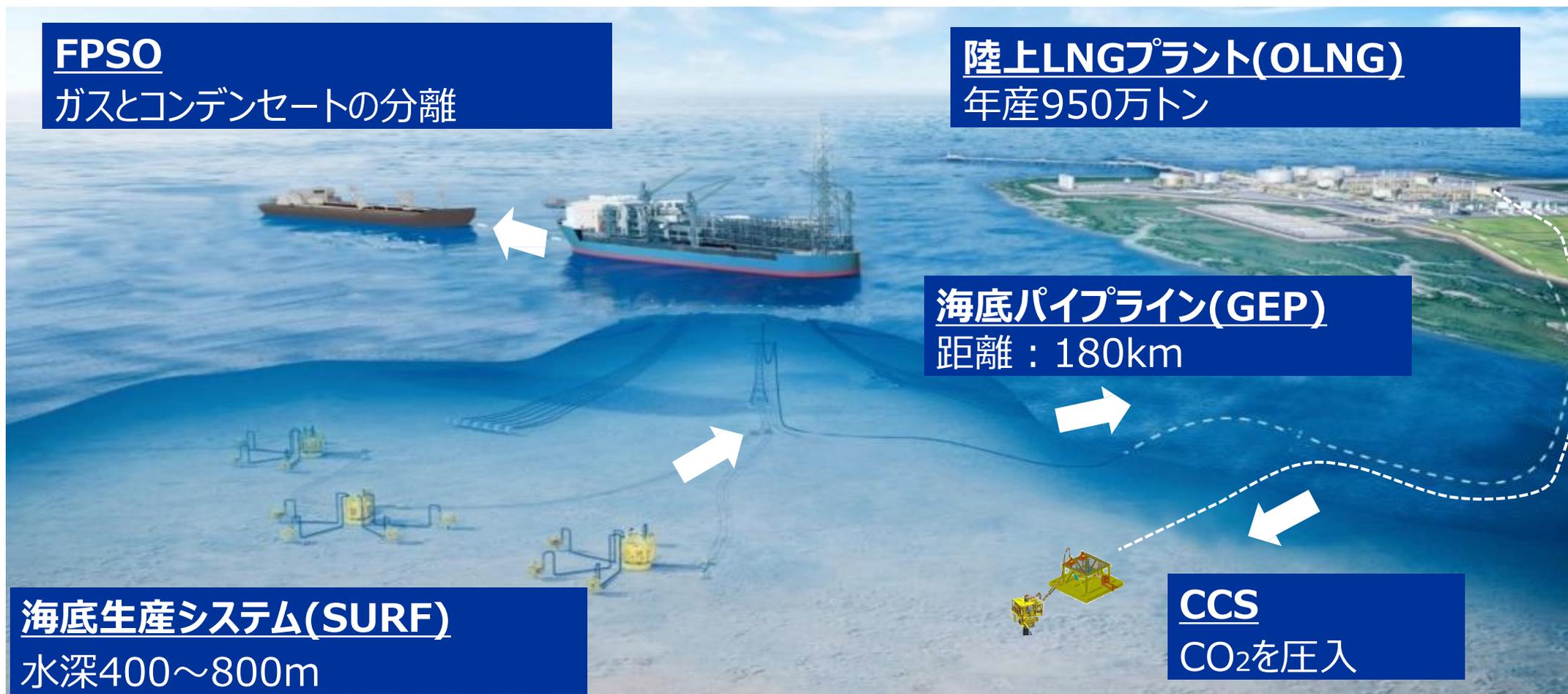
距離：180km

海底生産システム(SURF)

水深400~800m

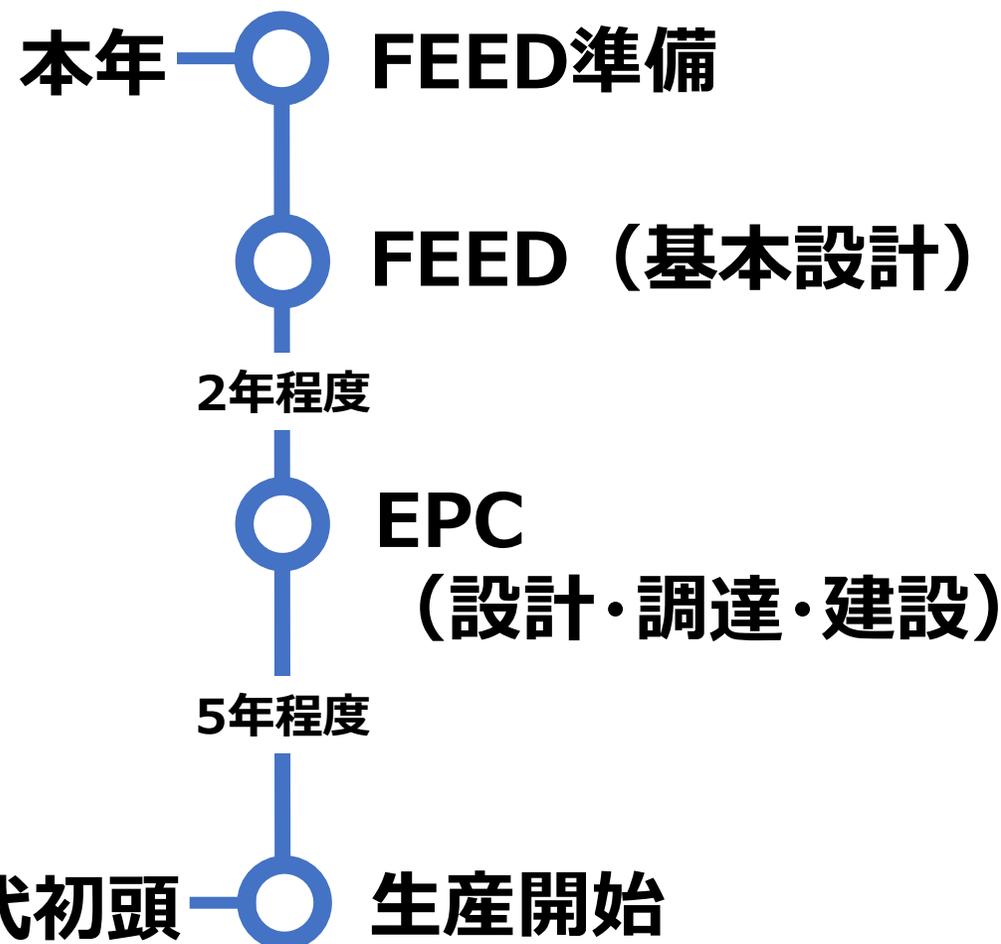
CCS

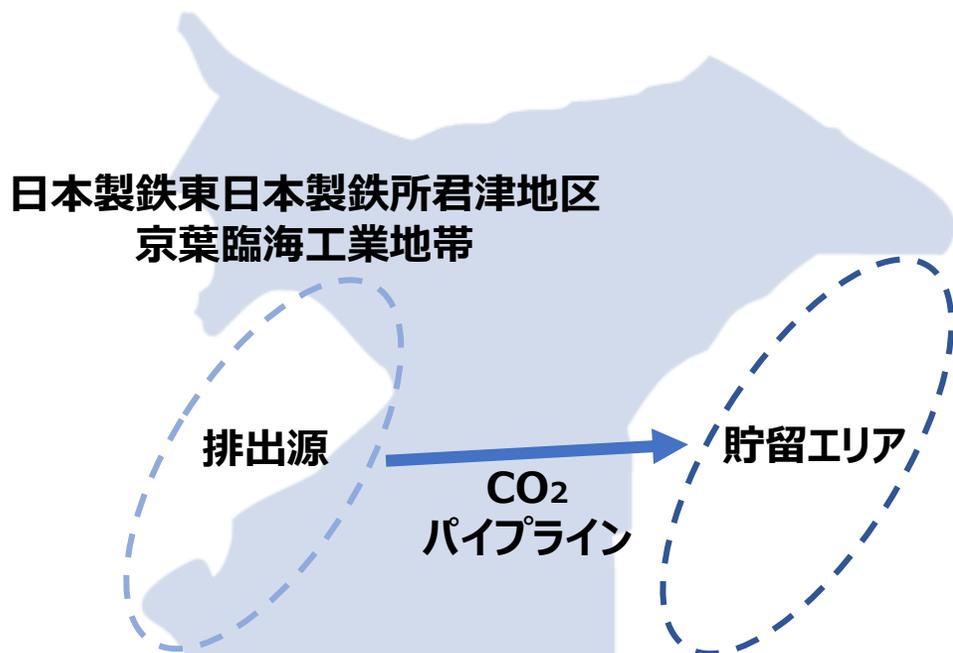
CO<sub>2</sub>を圧入



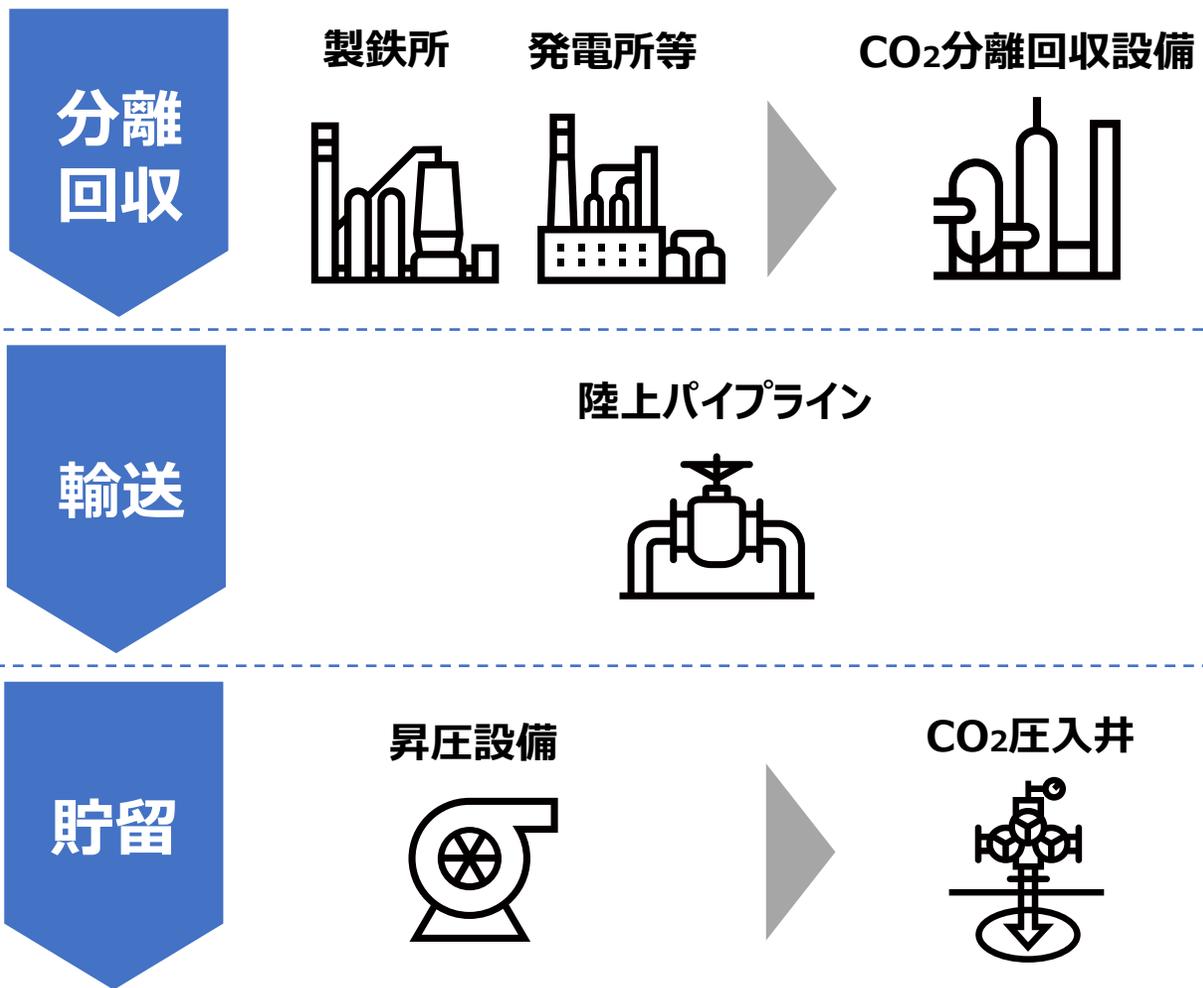
## 高い収益性を目指す

海上G&Gサーベイ





\*パイプラインルートは選定中。パイプライン・貯留エリアともに地元関係者の十分な理解を得た上で推進することが大前提。





2024年  
10月時点

## 地熱、風力、太陽光発電プロジェクトへと参画

Enel社（イタリア）との**再生可能エネルギーバリューチェーン**への取組み



# 3. 我々が大切にしたいこと



## 従業員 (Employer of choice)

- 多国籍
- 女性

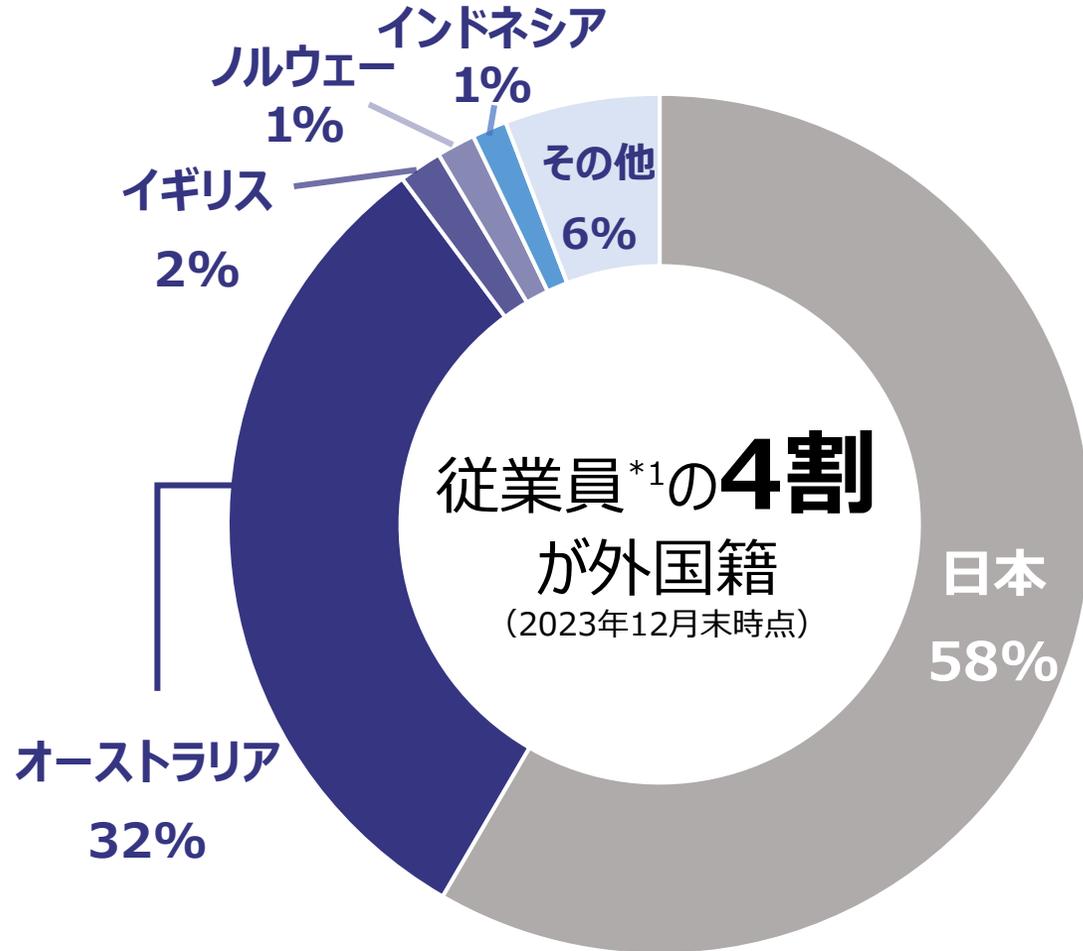
## HSE (Health, Safety, Environment)

- 安全第一

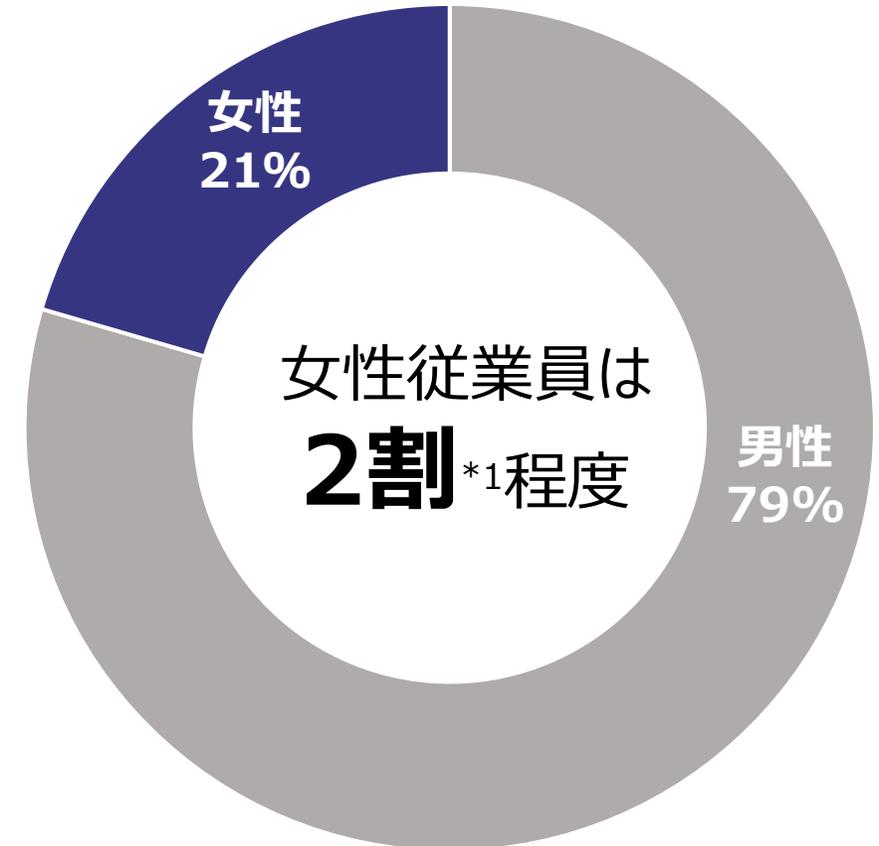
## R&D (研究開発)

- イノベーション本部
- I-RHEX

## 多様性がもたらす創造と発展



## 女性活躍タスクフォース<sup>\*2</sup>



\*1 子会社を含むINPEXグループの従業員

\*2 株式会社INPEXでの取り組み

## 安全第一 重大な事故ゼロの継続

今日も笑顔で、家に帰るために。

「ライフセービングルール (LSR)」は INPEX の安全の礎。日常的かつ継続的な、ルールの確認と遵守が大切です。ルール外の行動や作業を見かけたら、すぐに停止！復旧にかかる時間やコストは、心配するものではありません——事故が起こること、人が傷つくことに比べれば。職場で働く全員が、毎日無事に、笑顔で家族のもとへ帰るためにも安全最優先を心がけましょう。

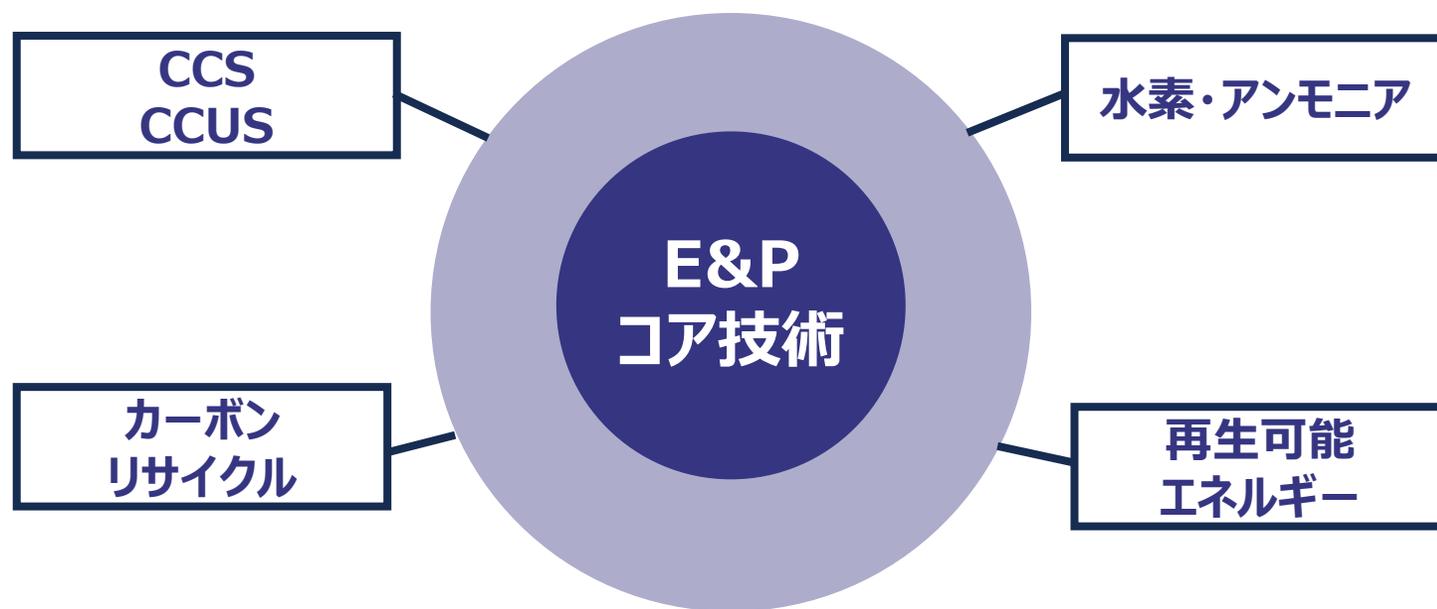
株式会社 INPEX 代表取締役社長 上田隆之

**INPEX** の LSR

Life-Saving Rules

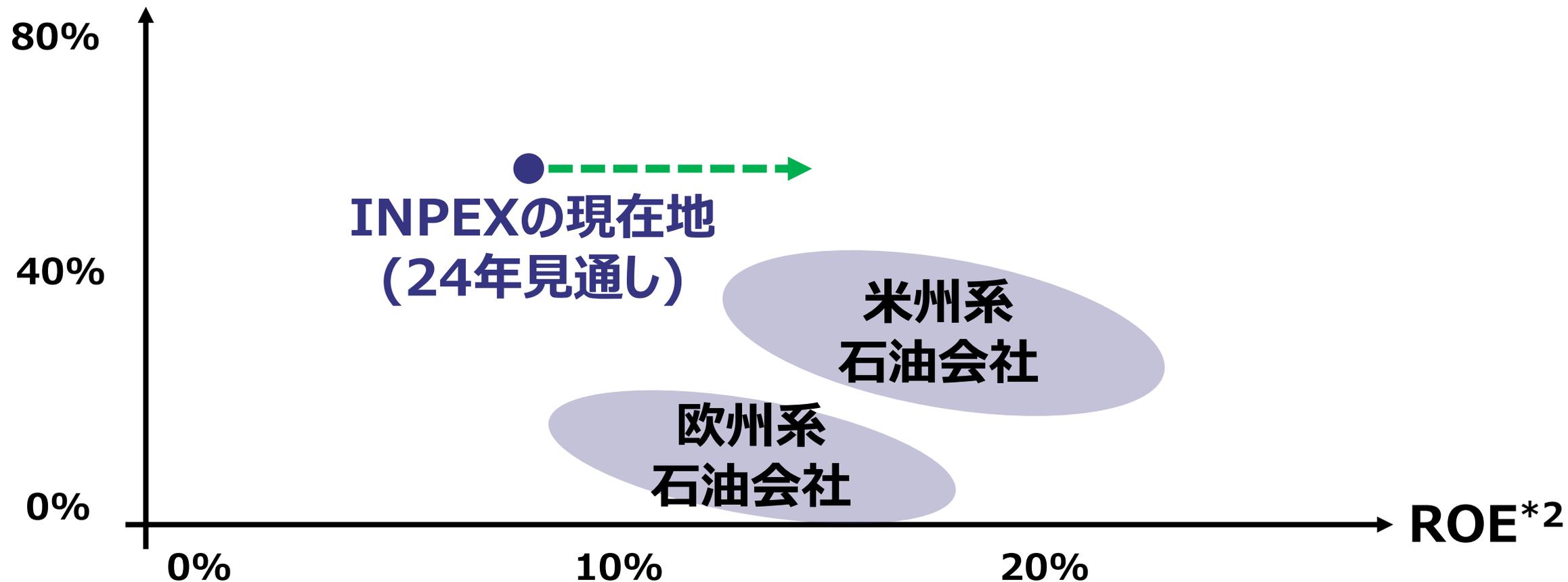
- 安全帯を確実に着用する
- 閉鎖空間
- 安全確認
- 安全停止
- エネルギー遮断
- 火気取扱い
- リフト
- ラインオフブレイク (LOB)
- ESD (Emergency Shutdown)
- 177 フランジ検査
- 作業許可
- 足場作業

## イノベーション本部/I-RHEXの設立 E&P技術(Explore & Production)を活かした技術の展開



研究開発費  
約200億円超  
(2024年見込み)

## 過去10年の成長率\*1



\*1 データ取得上の制約から、各社の石油・天然ガス生産量（石油換算）の成長率（2014年～2023年）を代替指標として用いている

\*2 ベンチマーク各社の公表情報から取得したデータを元に概ねの数値をレンジを示したもの（当社以外は2023年の実績値）